



# 東京土建ボランティア応援

# 野馬土の新聞

(Web版)

2019年2月号

特定非営利活動法人  
野馬土

相馬市石上字南白鬮320  
TEL.26-8437  
FAX.26-8203

二月十六日(土)、小高区金谷地区の観光施設にて東京土建練馬支部の皆さん十二名がボランティア活動をいたしました。当日はマイクロバスの他、作業道具一式を積んだワゴン車の二台で来て下さいました。午後十二時半より作業を開始、途中休憩をはさんで午後四時頃終了しました。元々は商店として使用していた建物のため、窓にはステッカーが貼ってあったりタバコの販売棚がそのまま置いてあったりしましたが、さすがは現役職人さん、あっという間に窓のステッカーをキレイに剥がし床をピカピカに磨きタバコの販売棚を分解し外の花壇を片付けてくれました。そのスピードの速いこと！様子を見ていた私達もあっけにとられてしまうほどでした。

また、ボランティア活動と同時に、野馬土理事の渡邊織音さんが観光施設で使用する棚を作製しています。今後は合間をみてお住まいの東京から駆けつけて完成させて下さるそうです。今回、東京土建さんのお陰で見えるほど綺麗になった観光施設、今後オープンに向けて着々と準備を進めてまいります。



東京土建練馬支部のみなさま、寒い中本当にありがとうございました！

## 帰還困難区域 双葉町視察

二月十三日、福島第一原発二〇km圏内ツアーガイドが帰還困難区域である双葉郡双葉町の視察へ行って参りました。当日、ツアーを希望していた映像制作グループ様が個別に双葉町へ立ち入り申請を出し許可された事で、今回の視察が実現しました。実際の視察案内は双葉町の職員が行うことになっていくようです。当時のままの学校、震災後ほとんど手付かずのままの街並みを見て、ガイドさんは言葉が失ったと言います。



本ツアーでは立ち入り許可が出ないため帰還困難区域内のご案内をいたしません。今回の双葉町視察は事故後初めて立ち入るガイドにとっても、大変貴重で勉強になったことかと思えます。各地で復興が進んでいるなか、一部では震災当時のまま時が止まっている町もあるのです。

## 中間貯蔵工事情報センターオープン

一月三十一日、双葉郡大熊町に『中間貯蔵工事情報センター』がオープンしました。施設見学会も行っているとのこと。今後参加してきたいと思えます。

## のまごお茶つこ会 大盛況!

二月二十三日、カフェ野馬土にて『のまごお茶つこ会』を開催しました。毎年大盛況のお茶つこ会ですが、今年も「野馬土の常連」六華亭遊花さんをゲストに迎えて午前と午後二部で開催、たくさんの方に楽しんでいただきました。実は遊花さん、この度「文化庁芸術賞」を受賞されたそうで、東京での授賞式後最初の寄席が野馬土だったそうです。サプライズで花束&くす玉を用意して、お客さんと一緒にお祝いしました。当日は朝から風が冷たく、開場を今か今かと待っていたお客様には、用意したあったかいお茶やコーヒー、手作りの漬物と共に遊花さんの落語でからだもこころもあたたまっていただき、笑い溢れる交流事業となりました。

